

平成 28 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ァ ル テ ッ ク  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 戸 井 田 和 彦  
 (コード番号：7215、東証第一部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 加 藤 浩  
 TEL. 044-520-0290

**平成 28 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 5 月 14 日に公表いたしました連結業績予想を以下の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正等について

平成 28 年 3 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	82,000	3,500	3,500	2,100	226円50銭
今回修正予想 (B)	84,150	3,220	2,870	1,020	110円01銭
増 減 額 (B-A)	2,150	△ 280	△ 630	△ 1,080	△ 116円49銭
増 減 率 (%)	2.6%	△ 8.0%	△ 18.0%	△ 51.4%	△ 51.4%
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	79,739	3,242	3,283	2,397	260円62銭

2. 連結業績予想修正の理由

売上高につきましては、中国ならびにタイ子会社の新工場稼働及び米国子会社の新規取引拡大等が寄与し、前回発表予想から 2,150 百万円の増加見通しとなりますが、営業利益は国内売上高減少影響及び英国子会社の新車立上げ費用増等により、前回発表予想を 280 百万円下回る見込みです。また、経常利益は上記営業利益減ならびに急激な円高進行による為替差損発生が影響し、前回発表予想から 630 百万円の減益見込みとなります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失として英国子会社工場で発生したレジオネラ菌対策に係る環境対策費ならびに課徴金引当金の繰入、また日本での当期発生製品補償損失費等を保守的に計上したことにより、いずれも一過性ではありますが、前回発表予想より 1,080 百万円の減益見通しとなっております。

当社では、中期計画の 3 本柱である「グローバルビジネスの更なる拡大」「No. 1 商品拡大を軸とした売上収益構造の変革」「モノづくり原価低減活動を中心としたコスト構造の変革」を更に押し進め、収益拡大に取り組んでまいります。

なお、予想年間配当金 (1 株当たり 43 円 33 銭) に変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上